

ごんた坂

第26号

光陵高校同窓会会報

〈発行所〉神奈川県立光陵高等学校光陵会

〈印刷所〉SALAT 株式会社 サラト



©大塚あゆみ



中庭から見える耐震工事の前(左)と後(右)の校舎

会長職半世紀

会長 太田 秀和 (2期)



大学2年生、20歳の時に、光陵高校の同窓会、つまり光陵会の会長を拝命いたしました。今年で50年になります。50年の間に19人の新しい校長先生をお迎えし、卒業生も10,000人を超える同窓会になりました。

初期の光陵会は私にとっては、主に4期生の皆さんと共に活動していた仲良しクラブのようなものでした。その後、卒業期数1桁台のスタッフの皆さんと活動することが多くなりましたが、基本はさほど変わりません。すべての仕事は手作業でした。姿を変えるようになったのは、卒業生が増えてきて、会務も増大し、会員名簿作製を外注するようになった頃からでしょうか。

そんな変化があっても、光陵会の運営の中心になっているのは、初

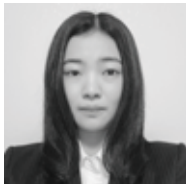
期から現在に至るまで、大学生です。このことは、他校の同窓会と著しく異なり、光陵会の誇るべきことだと、私は思っています。

光陵会スタッフの唯一の条件は「光陵が好きだ」と言うことです。光陵が好きで仲間にくわわってくれた、新しいスタッフに対しては、40歳前後の社会人スタッフが世話役として温かく、魅力あるフォローをしてくださっているのも光陵会の大きな特徴です。若い学生が社会に出て立派に通用するように、正しく楽しく導いてくれている姿をみるのは、うれしいものです。60歳前後のオールドスタッフは、主に渉外担当として活動したり、若いスタッフの相談に乗ったり、社会人としての経験を語ったりというのが仕事でしょうか。

こんなふうに関、20歳代、40歳代、60歳代のスタッフがうまく噛み合い楽しい雰囲気の中、光陵会の事務局活動は行われています。会長職半世紀をへた私も、卒業生の絆づくりや在校生のささやかなお手伝いに全力を尽くすことを胸に秘めて、今後もスタッフと共に光陵会を運営していきたいと思っています。今後ともどうぞ協力ください。

心機一転

事務局長 山下 粧子 (50期)



皆様にとって昨年とはどのような一年間でしたでしょうか？ 新型コロナウイルス感染症の蔓延という未曾有の事態に直面し、生活様式が一変した一方で、個人の価値観や働き方、今後の生活について改めて見つめ直す契機にもなったのではないのでしょうか。私自身、大学の講義はオンライン授業となり、キャンパスで友人と顔を合わせることもほとんどできないまま一年間を終えてしまいました。ですがその反面、自ら学び自分の頭で考えることの大切さに改めて気づかされ、自分自身と改めて向き合う機会にもなりました。

そして、この光陵会の活動においても様々な変化がありました。毎

月事務局で行っている定例会はオンラインでの実施となり、年に一度、皆様に向けて開催している総会もオンラインで行われました。その結果、海外在住者を含む遠方にお住まいで光陵高校に直接足を運ぶことが難しい方々にも総会に参加していただくことができました。

この環境下において光陵会は今までの活動内容を見直し、試行錯誤して変化してきました。これらは今後の活動に向けて大きな前進となったと感じています。一方で光陵高校の卒業生と現役生を結ぶ懸け橋として私たちの想いが変わることはありません。対面での活動は制限されますが、母校のためにできることを続けていきたいと考えています。そして、この会報においてもページのレイアウトが少し変わりました。ぜひ新しい試みに着目し、楽しんで読んでいただけたら幸いです。最後になりましたが、会報の発刊に際しご協力いただきました全ての方々に心より感謝申し上げます。

『ごんた坂』25号 掲載内容の訂正とお詫び

『ごんた坂』25号に掲載した寄稿者のお名前に誤りがございました。訂正してお詫び申し上げます。

【誤】田中洋子さん

【正】田村洋子さん

新発見!?卒業記念品ツアー ～卒業生が遺した品々～

皆さんは光陵を卒業するときに、卒業記念品として何を寄贈したか覚えていますか？登校してすぐ目に入る時計や、昇降口にあるトロフィーケースなど、意外にも高校生活でよく見かけたものの多くは卒業記念品です。今回は、そのうちほんの一部を、卒業記念品にまつわる事務局スタッフのエピソードとともにレビュー形式でご紹介します。「あれって卒業記念品だったんだ！」という驚きとともに光陵の懐かしい思い出に浸ってみたり、「今の光陵にはこんな卒業記念品があるんだ！」という新しい光陵を発見したり。私たち52期の新人スタッフと一緒に散策してみませんか？

14・20・48期生 学校の必需品「時計・温度計」



校門をくぐると真っ先に目に入る時計（20期生）、昇降口の上にある温度計（14期生）、教室の中にある時計（48期生）はどれも卒業記念品です。いずれも目立つ位置にあるので覚えている方も多いのではないのでしょうか？学校生活で何度もお世話になった時計たちには、光陵生の日常を取り巻くエピソードが詰まっています。

実用性：★★★★☆
騙されやすさ：★★★★☆

入学当初、時計だと思っていたら、よく見ると温度計！知ったときは友達と一緒に驚きました。夏に「今何℃だろうね」と温度計を見るとまさかの40℃超え…！「それはないでしょ?!笑」と話しながら教室に戻った思い出があります。（52期 15HR※）

英語の授業中に、いきなり教室の時計の針が凄まじいスピードで動き始めてクラスは大騒ぎ！先生は「電波時計だから」と冷静に授業を再開するも、みんなは先生の話より時計に夢中でした。（51期 36HR）

※ホームルーム：1年5組のこと（当時、以下同様）

10期生 季節うつろう「植え込み」



光陵を緑豊かに彩る植え込みも、実は10期生の卒業記念品です。校門近くの時計や温度計から、正面の体育館側へ歩を進めると目に映ります。卒業記念品は時計のような備品のイメージがあるため、植物は珍しい感じがしますね。

季節感：★★★★☆
野球部の活用度：★★★★☆

珍しく雪が降った日のこと。廊下の窓から外を見ると植え込みに雪が積もっていて、友達と「雪だ!」とはしゃいだ思い出があります。どうしても雪の中で写真が撮りたかったのですが、道路に積もる気配がなく、この植え込みの前で友人と何枚も写真を撮りました。その後には大吹雪になり、バスが渋滞してなかなか家にたどり着けなかったな…。（51期 26HR）

この植え込みの裏側で野球部が着替えていた記憶があります。しかし、冬には茂みが剥げちゃって意味なかった気が…。（43期 バドミントン部）

18・39期生 誇らしさに浸る「トロフィーケース」



続いて昇降口から校舎内に足を踏み入ると、すぐ正面に大きなトロフィーケースがあります。こちらは18期生の卒業記念品で、主に部活動で表彰された輝かしいトロフィーの数々が収められています。さらに、階段を上るとそこにもトロフィーケースが!1棟2階会議室の前にあるこのケースは39期生の卒業記念品で、主に部活動以外で表彰されたトロフィーが収められています。今後も光陵生の活躍とともに、トロフィーケースが増えることを期待しましょう!

注目度：★★★★☆
収集率：★★★★☆

昇降口に入ってすぐのところにあり、登校したとき、購買に行ったときなどに目に入るので印象に残っています。（52期 17HR）

全校集会の時に賞状や盾などを受け取ってる人がいましたが、の中には飾られてないので、「どこで保管してるのか」や「持って帰ったのか」など疑問に思うこともありました。（52期 テニス部）



43期生 最新フォトスポット「姿見」

トロフィーケースから廊下を進むと、43期生寄贈の姿見があります。実は姿見はここだけでなく、耐震工事中の2棟2階、踊り場にもあります。光陵を訪れる際は身だしなみをチェックしつつ、ぜひ校舎内に姿見が何枚あるか数えてみてください！

日常使用度：★★☆☆☆

イベント活用度：★★★★★

普段は廊下に馴染んで気配を消している姿見ですが、行事のときは大活躍！体育祭や文化祭、球技大会では、鏡の前で写真を撮る女子に大人気のスポットでした。(52期 24HR)

ダンス部が練習場所のない時に、たまに使っていました。ちなみに僕はダンス部ではなかったのに、なぜかこの鏡の前で部長決めをしました(笑)。(52期 テニス部)

37・52期生 青春の1ページ「ベンチ」

青春度：★★★★☆

息抜き度：★★★★★

1年生の時、中庭のベンチでお弁当を食べたり昼寝したりするのが、青春っぽくてささやかな夢でした。しかし、ベンチを使う勇気がなかなか起きず、いつしか3年生に。勇気を振り絞り、購買で買ったパンを持って友達とベンチへ行くと、想像以上に年季が入っていて驚き！「さすが光陵だね」と笑いながら食事しました。後日、廊下から中庭のベンチを見ると、ワンダーフォーゲル部がBBQをしていました。あれが青春か…と勉強になりました。(51期 演劇部)

中庭のベンチは、受験の時にお世話になっていました。ここで受験勉強をしたり、ご飯を食べたり…。自習室や教室以外の場所で勉強すると気分転換ができるのでよかったです！(52期 34HR)



姿見と同じくらい光陵で見かけるものは、ずばりベンチではないでしょうか。中庭に置かれたベンチは、37期生の卒業記念品です。すっかり中庭の自然に溶け込んだその姿には、威厳さえ感じます。一方、校内に設置されている真新しいベンチは、私たち52期生が寄贈したものです。漫画やドラマに出てくるような、学校のベンチで語らうシーンに憧れていたのは私だけでしょうか…？

35期生 理系垂涎!? 「日時計」



再び校舎を出て、見落としがち卒業記念品をご紹介します。グラウンド近くのトイレのそばに設置されている35期生寄贈の日時計です。草木が生い茂る中にひっそりと佇んでいますが、その道の人なら一目で分かる(?)本格的なつくりです。卒業記念品に時計が多いのは、時間を有効に使ってほしいという、卒業生からのメッセージなのでしょうか…。

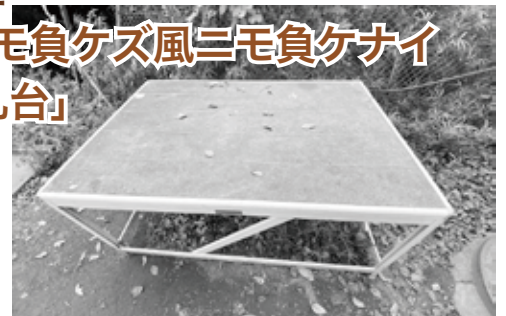
遭遇率：★★☆☆☆

本格派：★★★★★

私が光陵に通っていた頃、日時計は周りに咲いていた藤の花に隠れていました。そのため、日時計の役割を果たしていたのかは疑問…。今は藤の花がないので、まだ見つけやすいかもしれないけど、場所を知らない人からしたらちょっとした宝探し気分かも。(52期 15HR)

応援団の練習中にこの日時計を発見。このサイズの日時計になじみがなく、最初は何かわかりませんでした。(52期 白組応援団)

42期生 雨二毛負ケズ風三毛負ケナイ 「朝礼台」



日時計の他にも、普段通らない場所に置かれている卒業記念品があります。校庭から部室棟の抜け道を覗くと、42期生寄贈の朝礼台が…!グラウンドでの朝礼がない光陵では、目にする機会が少なかったのではないのでしょうか。実はあの行事から意外な活動まで、陰ながら支えてくれた存在なのです。

縁の下の力持ち：★★★★★

荷物置き場：★★☆☆☆

外での朝礼がない光陵では、普段隅っこに控えている朝礼台。体育祭では大活躍します。開会式の選手宣誓から、閉会式での緊張の結果発表、優勝杯授与まで…。3年生で体育祭実行委員長だった当時、閉会のことばをこの朝礼台の上で述べました。「体育祭をやり切ったぜ」というような、すがすがしい生徒の顔は今でも忘れません。みんなかつこよかった～!

(49期 体育祭実行委員)

サッカー部では練習中の荷物置き場が1～3年生で違って、この朝礼台は1年生用の場所でした。屋根がないところにあるため、雨が降ると荷物が濡れると焦っていました。よくここで、夏の厳しい練習が始まる前にみんなで「嫌だな～」と言ったり、泣きながら靴を履き替えたりしたのは、かれこれ10年前くらいの思い出。(46期 サッカー部)

?期生 光陵七不思議!? 「中庭のオブジェ」

最後にご紹介するのは、中庭で一際存在感を放っていたあの謎のオブジェ。「ピ〇チュウ」と呼んだり「ア〇ム」に見えたり、世代によって違いはあれど、多くの光陵生から注目を集めてきました。

荷物置き場②：★★★★☆

謎深さ：★★★★★

グラウンドにプレハブが立ち、応援団の練習を中庭でやるようになった時、タオルや水筒、ポンポンなどの置き場と化していました。真ん中の窪みは水筒やスマホを置くのに、ピ〇チュウの耳はタオルや、学ランを引っ掛けるのに丁度良いみたいです。
(52期 青組応援団)

入学当時から「あれって何だろうね」と友達と話しつつ、このオブジェの正体がよくわからないままついに卒業してしまいました。今でも気になる…。

(49期 ハンドボール部)



ついに突き止めた正体! 作品名は「〇〇〇〇」

いったい誰が作ったのか、いつから中庭に鎮座しているのか、何を表現しているのかなど、謎多きオブジェ。このオブジェの謎解きに挑みながら、志半ばで卒業した光陵生は数知れず。かくいう筆者も、そのうちの一人でした。しかし、今回、私たち52期の取材班が総力をあげて調査した結果、ついにその正体を突き止めることができました!

その正体が記されていたのは、1991年に発行された『雑誌光陵』第23号。私たち52期生が産声を上げるちょうど10年前、その真実にたどり着いた偉大な先輩は、当時取材した和田先生とのやりとりを書き残していました。その記事によると、このオブジェは卒業記念品ではなく、8期美術部員の2年生女子を中心とした共同制作で、タイトルはなんと「喜怒哀楽」。光陵生の人間性をどう表すか、という重厚なテーマで、稲妻状の亀裂が「怒」、全体の形が「楽」、鎖が…というように、それぞれの特徴が喜怒哀楽を表現しているそうです。

以前は3羽のハトの像が片方の角の上にとまっていたようですが、1991年当時には既に失われていたようで、残念ながら現在

は見るできません。当時の和田先生への取材によると、オブジェの軸は丸太で、まわりが人工大理石できており、サンドペーパーなどで磨けばきれいになるはずだそうです。

光陵生の人間性を表現した作品、「喜怒哀楽」。実は『雑誌光陵』に記されなかった謎が残っています。それは、この作品のどの部分が「喜」、「哀」を表しているかです。作品の一部だったハトは平和の象徴であることから「喜」、角の部分の印象的な鎖は、何かを縛り付けるものというイメージから「哀」を表しているのではないかと、というのが取材班の仮説です。

制作から40年余り経ち、形に多少の変化はあれど「喜怒哀楽」の存在感は変わりません。現在、校舎の耐震工事に伴い、中庭から一時的に別の場所に移動していますが、中庭に戻ったら新しい校舎と共に、感受性豊かな光陵生の「喜怒哀楽」が彩る学校生活を見守り続けてほしいと思います。「このオブジェは何だろう」、「このオブジェの正体はね…」と、世代をこえた卒業生たちが、サンドペーパー片手に中庭で語らうのも素敵かもしれません。

26期生 新たな謎も…? 謎の木片

今回の調査で取材班が新たに発見した謎がこの木片です。26回卒業記念と銘打たれているのですが、原型をとどめておらず想像が膨らむばかりです。調査の結果、有力な証言は得られましたが、残念ながら元の姿をおさめた写真は入手できませんでした…。

想像が広がる度：★★★★☆

哀愁度：★★★★☆

第26回卒業記念と書いてある木片、52期生がベンチと一緒に贈った卒業記念品「掲示板」の先代の掲示板だったという話を聞いたことがあります! 何十年も大事に使われ続けて、四半世紀ぶりの世代交代。お疲れさまでした!

(49期 33HR)



編集後記

在学当時を思い出す懐かしいものや、卒業してもなお印象に残っているものはあったでしょうか? 新型コロナウイルスが終息し、母校を訪れる機会があれば、ぜひ卒業生が遺っていた卒業記念品を探しながら母校を散策してみたいでしょうか。(52期 牧野暖登、52期 南香帆、51期 櫻井悠貴)

情報提供のお願い

取材班では、今回ご紹介した8期「喜怒哀楽」や26期「掲示板」はもちろん、ご紹介できなかった卒業記念品の情報、エピソードなどを募集しています!

ぜひ、総会懇親会の出欠フォーム「コメント欄」または光陵会事務局 (staff@koryokai.jp) にお知らせください。

寄贈事業報告

光陵会では毎年、光陵高校に寄贈を行っています。今年度は、校門前の故障した時計を、53期卒業生と光陵会の共同で新しいものに取り替える予定です。光陵会と卒業生の共同で寄贈を行うのは初めての事例となります。今後も有意義な寄贈が行えるよう取り組んでまいりますので、会員の皆様のご意見・ご要望がございましたら、ぜひ光陵会事務局（staff@koryokai.jp）宛にお寄せいただけますと幸いです。



光陵の教壇に立ってみませんか？

～ キャリアガイダンス講師募集のお知らせ ～

光陵高校では毎年3月に、1・2年生対象の「キャリアガイダンス」というプログラムを実施しています。キャリアガイダンスとは、さまざまな分野で活躍する卒業生が、仕事の内容や進路選択の過程を現役生にお話しし、将来のキャリア形成に役立ててもらおうというものです。

2020年度は、3月13日（土）にオンラインで開催され、17名の卒業生にご協力いただきました。弁護士、国際協力専門家、フォトグラファーなど各界の卒業生のお話に、現役生は真剣に耳を傾けていました。幅広い業種に従事する講師らが高校時代の体験談を交えて熱く語る講義は、現役生にとって将来のキャリアを考えるきっかけになるとともに、社会に出た光陵の先輩とのつながりを感じられる貴重な機会です。また、講師同士が異業種交流を通じて光陵の絆を再確認する場ともなっています。

光陵会は講師をしていただく卒業生を光陵高校にご紹介する形で、このプログラムに協力しています。趣旨に賛同していただき、講師としての参加に関心のある方はぜひ「光陵高校内光陵会」（住所：保土ヶ谷区権太坂1-7-1、メールアドレス:staff@koryokai.jp）までご連絡ください。

また、光陵会では卒業生にご職業などの人材情報を登録していただく「光陵卒業生人材バンク」を運営しております。人材バンクの情報はキャリアガイダンスへの講師紹介などに活用させていただきます。ご協力いただける方はぜひ上記連絡先までご連絡ください。



オンラインで登壇した講師の方々

母校の最新情報

進路状況 (光陵高校HP)



<https://www.pen-kanagawa.ed.jp/koryo-h/shinro/index.html>

部活動実績 (光陵高校HP)



<https://www.pen-kanagawa.ed.jp/koryo-h/bukatsu.html>

教職員異動 (神奈川県HP)



<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/y4g/prs/r3136554.html>

会報発行協力金のお願い

会報発行協力金にご協力いただき、誠にありがとうございます。

本会報の発行は2009年から名簿委託業者である㈱サルトとの共同事業の契約とし、会報発行費用は最大負担額を定めた独立採算制となっております。会員の皆様には、会報発行費用について賛助協力金として1口2,000円をお願いしております。本年度もコンビニエンスストアで決済可能な振込用紙を、失礼を承知の上で同封させていただきました。

光陵会事務局は今後も存続し、母校への発展寄与のため力を尽くしてまいりたいと一同強く願っております。何卒、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。また、従来からお願いをさせていただいております光陵会への直接の賛助金も受け付けておりますが、これを機会にぜひ会報発行協力金にご賛同いただけますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

※会報発行協力金は発行費用(約200万円)を上回ります賛助協力金をいただけた場合、上回った分の8割が光陵会への賛助となる仕組みです。

※同封の振込用紙は、郵便振込を利用されますと金額の訂正が可能となります。コンビニエンスストアを利用される場合は一律2,000円となりますのでご注意ください。

「卒業生からの便り」

- たいへんな時期の総会、事務局の皆さんのご苦勞に感謝しております。(1期 男性)
- 会社も社会勉強会もサイバー/ウェブ会となっています。IT化を進める良い機会ともとらえられています。(5期 女性)
- この緊急事態にご活動ありがとうございます。6期、今年前期高齢者になります。動物病院を開業して早40年、まだ辞められません。プラバンです。CI(クラリネット)、今休止中でちょっと残念。(6期 女性)
- 昨秋(2019年)の10期還暦同窓会は、44年の時を超え、実に楽しい時間でした。卒業以来会っていないという旧友にも会えて、幹事の皆さんには本当に感謝です!!(10期 男性)
- いわゆる「コロナ後の世界」は、確実に今そこにある「不都合な現実」です。様々な学び、準備ももちろん大切ですが、同時にその「不都合な現実」の中で生きていく覚悟を強く持ちましょう。(12期 男性)
- 横浜を離れて久しいので、光陵会からのお便りは母校とのつながりを感じるだけでなく、故郷とのつながりをも感じられ、隔々まで読んでいます。次回アニバ期には総会懇親会にも参加したいと思えます。それまでに世の中が落ち着いていますように。(15期 女性)
- 表面・界面化学という分野で大阪大学で研究室をもっています。その分野を代表する学会、日本表面真空学会で2020年度の学会賞を頂けることになりました。大変な時代になっていますが、できる事をやってみましょう。(17期 男性)
- やりました! 息子が55期になれました! 高校生活は55年に1度! ?の幕開けとなりましたが、柔軟に、楽しく充実した光陵生活を送ってくれることでしょうか。51期の娘と応援しています。(18期 女性)
- 30年ぶりに横浜にもどったので、特別講演、懇親会の中止は、本当に残念でした。アニバーサリー期にあたるので、心を豊かにして仲間と再会出来る日を楽しみにしております。(22期 男性)
- 私の代は社会の状況があまりよくない世代であり、家庭の事情も併せて辛い学生時代でした。ようやく心穏やかな日々を過ごしております。皆様もコロナに負けず、元気にお過ごし下さい。(24期 女性)
- 私も25年前、光陵会事務局書記でした!! 会を存続して頂き、有り難うございます。(26期 女性)
- コロナの影響で、貴重な学校生活や部活の時間を奪われてしまっている後輩たちが心配です。先輩として何かしてあげられることがあればいいのですが。(37期 男性)
- 会報で蘇武先生が再度着任されたこと知り、当時担任していたので懐かしく思いました。お写真も拝見することができ、嬉しかったです。(39期 女性)
- 小生、馬齢を重ねて87歳になりました。遙か北の大地・北海道より光陵高校のご発展を祈っております。(旧職員 男性)

「ご意見募集のお知らせ」

光陵会では会員の皆様のご意見・ご感想を、総会懇親会出欠登録用のWebフォーム内で募集しております。光陵高校で過ごした思い出や会報を読んで思い出されたことなど、ぜひお聞かせください。来年度の『ごんた坂』で一部をご紹介しますことができます。

♪ 青春かながわ校歌祭中止のお知らせ ♪

今年第16回の校歌祭は新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、中止となりました。2019年より3回目の中止となり大変残念ではありますが、来年の第17回が開催できることを祈っております。

今後の詳細につきましてはホームページ等でお知らせします。お問い合わせは光陵会スタッフ(staff@koryokai.jp)まで。

同窓生向け SNSのご案内

卒業後の交流の場として同窓生向けSNSが運営されています。加入希望、お問い合わせは下記へお願いいたします。たくさんの方のご参加をお待ちしております。

URL : <http://www.koryo.gr.jp/sns/>
MAIL : koryo-kai-request@koryo.gr.jp
運営 : 光陵会メーリングリスト(koryo.gr.jp)

2020年度 総会・懇親会報告

開催日：2020年5月30日(土)

総会 @オンライン Zoom

以下の議事項目がすべて承認されましたことをご報告いたします。

①2019年度決算報告、②2020年度予算案審議、③2020年度役員及び監査承認

特別講演・懇親会

新型コロナウイルス感染症の拡大を受けまして、誠に残念ながら中止とさせていただきます。

2021年度には同窓生の皆さんの懇親の機会の方が提供できるように事務局にて検討中です。

賛助金への御礼

2020年度は、総会をオンライン開催とさせていただきました。そのため、直接のご支援を賜わる機会がございませんでしたが、日頃の皆様の温かいお心遣いに深く感謝しております。引き続き充実した同窓会運営に努めてまいりますので、今後ともご支援ご協力のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

会員名簿の取扱いについて

光陵会では、2020年9月に皆様のご協力の下、会員名簿を発刊いたしました。光陵会では会員以外に会員名簿を配布することは一切なく、会員各位の情報が外部に漏れることのないよう、プライバシーマーク取得企業で名簿委託業者の(株)サウトとともに厳重に管理しております。皆様も名簿の取扱いには十分ご注意ください。外部への流出がないよう、ご配慮ください。

また昨今、光陵会の名を騙り、会員の皆様の勤務先への問い合わせや勧誘・物品販売などが行われているようですが、これらは光陵会とは一切関係ございません。内容を確認の上、適切にご対応くださいますようお願い申し上げます。

なお、会員名簿のご購入を希望される方は下記までお問い合わせください。光陵会事務局からお手続きの詳細の連絡をさせていただきます。事務局の定例作業等での対応となりますため、お手続きには1ヵ月程度のお時間をいただく場合がございます。期間の余裕をもってご連絡いただけますと幸いです。なお、会員名簿の販売は、原則お一人様一冊までとなります。



宛先:「光陵会事務局メールアドレス」 staff@koryokai.jp

会計報告

2020年度決算

(2020/03/01~2021/02/28)

(収入の部)

入会費・終身会費	¥3,030,000
懇親会会費	¥0
賛助金	¥0
名簿売上	¥7,000
その他	¥22,944
前年度繰越金	¥21,526,640
合計	¥24,586,584

(支出の部)

通信費	¥181,353
事務費	¥9,385
運営費	¥152,402
交通費	¥43,000
総会懇親会費	¥45,540
HP運用費	¥24,200
会報費	¥500,000
校歌祭費	¥0
光陵祭費	¥0
高校寄付費	¥0
設備予備費	¥168,234
合計	¥1,124,114
収支差額	¥23,462,470

2021年度予算案

(2021/03/01~2022/02/28)

(収入の部)

入会費・終身会費	¥3,050,000
懇親会会費	¥0
前年度繰越金	¥23,462,470
合計	¥26,512,470

(支出の部)

通信費	¥300,000
事務費	¥30,000
運営費	¥300,000
交通費	¥100,000
総会懇親会費	¥80,000
HP運用費	¥50,000
会報費	¥500,000
校歌祭費	¥0
光陵祭費	¥80,000
高校寄付費	¥400,000
設備費	¥250,000
合計	¥2,190,000
収支差額	¥24,322,470

2020年度の校歌祭は中止、光陵祭は不参加のため、費用を計上していません。

2020年度の高校寄付費(20万円)は、2021年度予算に繰り越して計上しております。

2021年度の懇親会および校歌祭は中止のため、予算を計上していません。

過年度の会計報告については、光陵会HP (<http://koryokai.jp/>) に掲載されている会報のバックナンバーをご覧ください。

2020年度光陵会役員・監査・事務局

会長	太田 秀和 (2期)	
副会長	大道 正夫 (4期)	山本 勉 (4期)
	茅野 憲 (7期)	中濱こずえ (9期)
	藤原 直人 (31期)	
理事	荒木 宏之 (19期)	虻川 真紀 (25期)
	高橋 芳昌 (33期)	増田 祐徳 (36期)
	金子 周平 (38期)	阿南紗智子 (41期)
	坂倉 楓 (42期)	藤居 悠人 (43期)
	山本 航介 (43期)	佐藤 菫 (44期)
会計	菊名 直人 (42期)	大塚 美咲 (47期)
	櫻井 悠貴 (51期)	山井 若菜 (51期)
	于 棋棋 (52期)	柿本亜路真 (52期)
監査	上原 武 (25期)	柘植 貴之 (41期)
	村上 将 (45期)	長尾沙津季 (46期)
	萬 紗帆 (46期)	
事務局長	山下 粧子 (50期)	
副局長	飯田 雅大 (47期)	中村 凧沙 (49期)
	加藤 圭祐 (49期)	高橋 歩希 (52期)
書記	岡戸 栞 (51期)	関野 真由 (51期)
	松森 美春 (51期)	吉川 佳歩 (52期)

2021年度光陵会役員・監査・事務局

会長	太田 秀和 (2期)	
副会長	大道 正夫 (4期)	山本 勉 (4期)
	茅野 憲 (7期)	中濱こずえ (9期)
	荒木 宏之 (19期)	藤原 直人 (31期)
理事	虻川 真紀 (25期)	増田 祐徳 (36期)
	金子 周平 (38期)	阿南紗智子 (41期)
	佐藤 楓 (42期)	藤居 悠人 (43期)
	山本 航介 (43期)	佐藤 菫 (44期)
	長尾沙津季 (46期)	
会計	菊名 直人 (42期)	于 棋棋 (52期)
	寺田 祐晟 (52期)	伊藤 空也 (53期)
監査	上原 武 (25期)	高橋 芳昌 (33期)
	柘植 貴之 (41期)	萬 紗帆 (46期)
事務局長	櫻井 悠貴 (51期)	
副局長	加藤 圭祐 (49期)	中村 凧沙 (49期)
	山下 粧子 (50期)	高橋 歩希 (52期)
	阿部 夢生 (53期)	
書記	松森 美春 (51期)	吉川 佳歩 (52期)
	牧野 暖登 (52期)	南 香帆 (52期)

2021年度 光陵会総会・ 特別講演のご案内

2021年 6月12日(土)

新型コロナウイルスの影響に伴うオンライン開催と懇親会の中止について

光陵会では、2021年3月時点の新型コロナウイルスの状況を踏まえ、会員の皆さまの安全を最優先に考えた結果、**2021年度総会と特別講演をオンラインで開催し、懇親会は中止**とする運びになりました。

会員の皆さまと直接お会いできないことは誠に残念ではございますが、このオンライン開催を機に、毎年会場に足を運んでいただいている方だけでなく、遠方にお住いの方にも、ぜひご参加いただけましたら幸いです。

なお、ご欠席の場合も委任状のご提出をお願いします。

出欠(委任状)登録、会員情報変更のWeb利用にご協力ください

個人情報管理、経費削減、負担軽減等の観点から、**Web上での出欠(委任状)登録を推奨**とし、それ以外の方法をご希望の方のみ、メール又は郵便はがきでのご登録とさせていただきます。ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

<出欠(委任状)登録方法> 登録期限：5月28日(金)

Web【推奨】：光陵会ホームページ(<http://koryokai.jp/>)内の専用フォーム

メール：staff@koryokai.jp

郵便はがき：会報同封のはがきに記入して郵送

ご不明な点等がございましたら、上記メールアドレス宛にご連絡ください。

皆さまのご参加を心よりお待ちしております。



光陵会HP

総会

14:00～16:00 (13:45開場予定)

場 所：オンライン開催 (Zoom使用)

会 費：無料

<議事次第(予定)>

- 1 2020年度決算・監査報告
- 2 2021年度予算案審議
- 3 2021年度役員及び監査承認
- 4 事務局活動報告等

総会 特別講演「私の職業人生とこれから」

講 師：関水 康司氏 (3期 国際海事機関 (IMO) 名誉事務局長)



略 歴：1977年に運輸省(現 国土交通省)入省後、外務省への出向を経てIMOに転籍。2012年に日本人初のIMO事務局長に就任。IMO時代には船舶の温室効果ガス、ソマリア沖海賊対策を中心に活躍。

講演内容：光陵での学生時代を含め、私が歩ませてもらった道を振り返り、今思うことをお話します。関西の大学に進学し国家公務員になるも、IMOという国際機関に転身しました。国際社会での勤務で得られたこと、事務局長選挙のこと、組織のリーダーとして努めたことと国連機関トップの仕事の難しさや魅力など、そして今後の日本の国際貢献への期待などお話する予定です。